

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	東成区
学校名	大阪市立神路小学校
学校長名	三上 孝

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・神路小学校では、第6学年 69名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

大阪市の平均正答率との比較では、国語が4ポイント、算数が5ポイント、理科が3ポイント下回った。無回答率では、国語で2.7ポイント、算数で5.2ポイント、理科で4.7ポイント下回った。

領域別にみると、国語・算数・理科とも全ての領域で大阪市平均を下回った。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語]

昨年度の課題であった「読むこと」については一定の改善が見られた。しかし、「話すこと・聞くこと」「書くこと」については課題の残る結果となつたため、「学力向上支援チーム事業」による授業改善、個に応じた指導など、学校全体での取り組みが必要である。

[算数]

「変化と関係」をはじめ多くの領域で昨年度に比べ一定の改善が見られたが、「測定」においては、8.6ポイント下回った。平均無回答率においては、昨年度同様に4.2ポイント下回った。回答が難しい問題にもあきらめずに取り組むことに課題が見られた。プラクティスタイムで基礎基本の反復練習を行うこと、デジタルドリルで苦手な領域を克服すること、また、学びサポーターによる支援をさらに進め、個に応じた指導にも取り組む必要がある。

[理科]

「エネルギーを柱とする領域」については、大阪市とほぼ同じ正答率であったが、その他の領域では4ポイント下回る結果となつた。観察や実験をよく行っているが、どのようなことがわかったのか、観察や実験の進め方や考え方を振り返る習慣をつけていく必要がある。

質問調査より

「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」についての肯定的な回答が増え、大阪市平均および全国平均を上回っている。昨年度改善していた自己肯定感についての回答については、14.9ポイント否定的な回答が増えた。「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」について肯定的な回答が大阪市平均および全国平均を下回っており、学級活動や縦割り班による交流など、あらゆる場面で自己肯定感を高める取り組みを継続する。一方で、PC・タブレットなどのICT機器の活用が少ないと感じる児童が多く、デジタルドリル、観察記録、プレゼンテーションなどあらゆる場面で毎日活用する取り組みを計画する必要がある。ICT支援員による活用サポートを受けて児童の活用場面を増やしていくたい。

今後の取組(アクションプラン)

昨年度の課題であった「読むこと」については一定の改善が見られた。しかし、「話すこと・聞くこと」「書くこと」については課題の残る結果となつた。算数においては、回答が難しい問題にもあきらめずに取り組むことに課題が見られた。プラクティスタイムで基礎基本の反復練習を行うこと、デジタルドリルで苦手な領域を克服すること、また、学びサポーターによる支援をさらに進め、「学力向上支援チーム事業」による授業改善、個に応じた指導など、学校全体での取り組みが必要である。

タブレットなどのICT機器の活用が少ないと感じる児童が多く、学校全体で毎日活用する取り組みを計画する必要がある。調べ学習、自主学習、協働学習など、あらゆる場面でICTの活用を図り、一人ひとりが楽しく学ぶことができるよう取り組みたい。

【 全体の概要 】

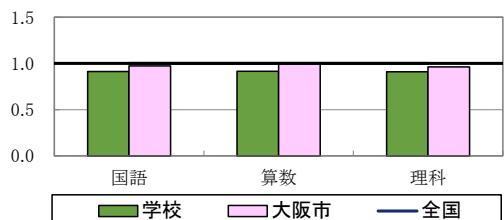
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	61	53	52
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

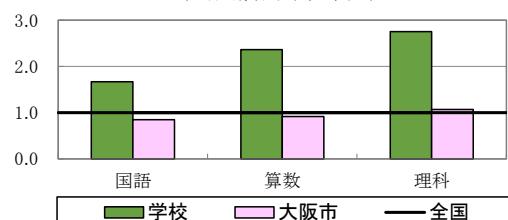
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	5.5	8.5	7.7
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



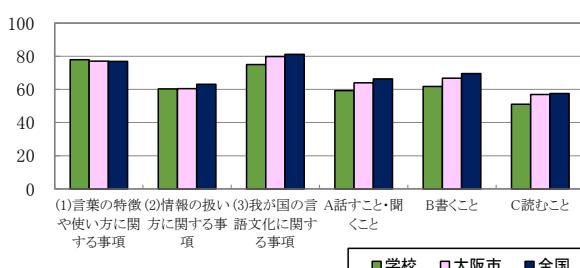
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	77.9	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	60.3	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	75.0	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	59.3	64.0	66.3
B 書くこと	3	61.8	66.7	69.5
C 読むこと	4	51.1	56.9	57.5

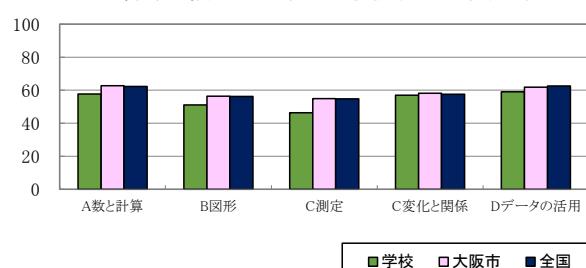
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	57.7	62.7	62.3
B 図形	4	51.1	56.4	56.2
C 測定	2	46.3	54.9	54.8
C 変化と関係	3	56.9	58.2	57.5
D データの活用	5	59.1	61.9	62.6

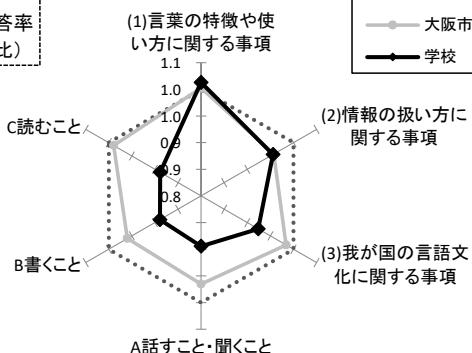
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



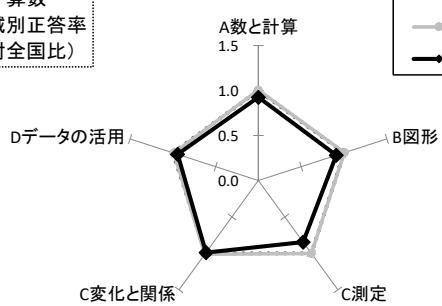
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

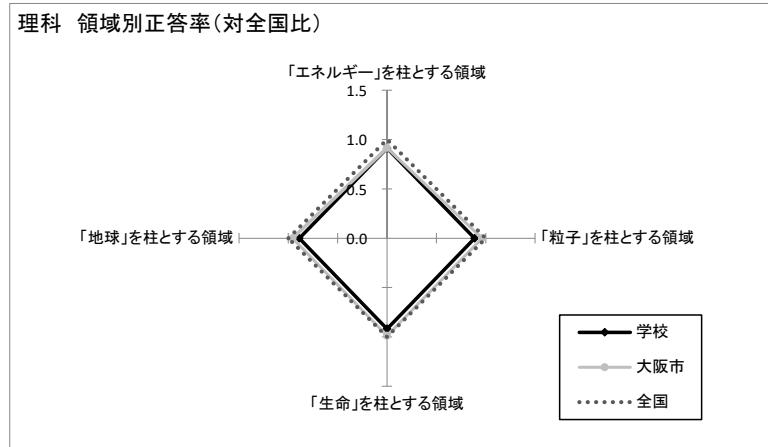
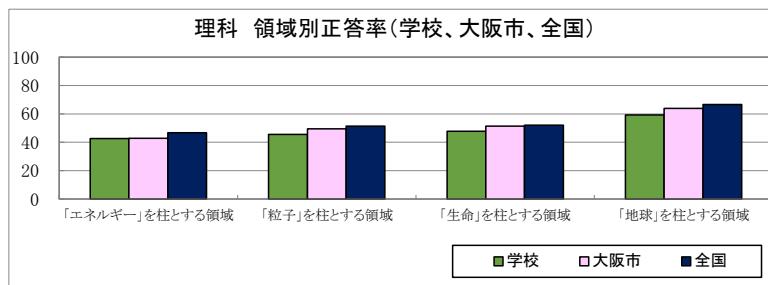


算数
領域別正答率
(対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	42.6	42.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	45.6	49.5
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	47.8	51.4
	「地球」を 柱とする領域	6	59.3	63.8



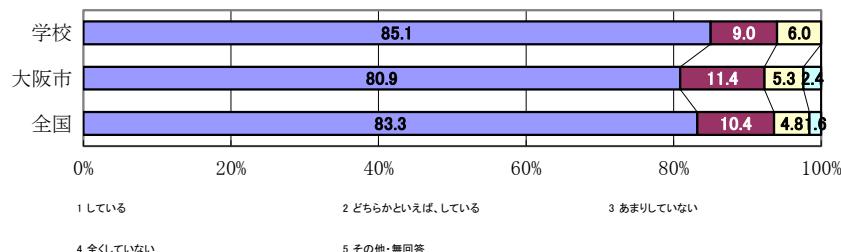
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

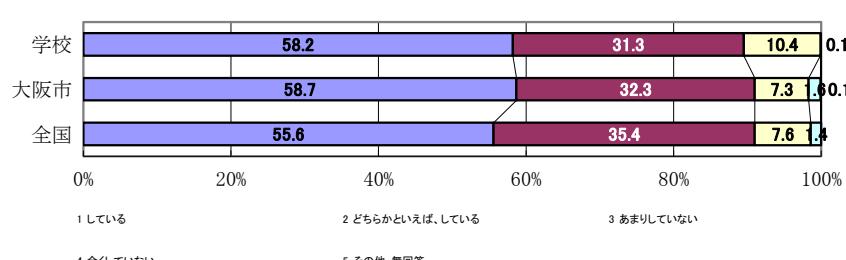
1

朝食を毎日食べていますか



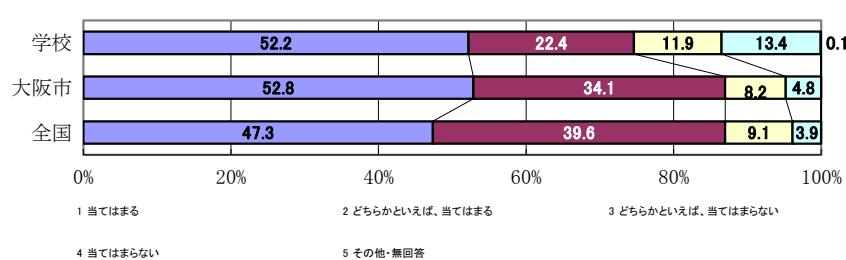
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



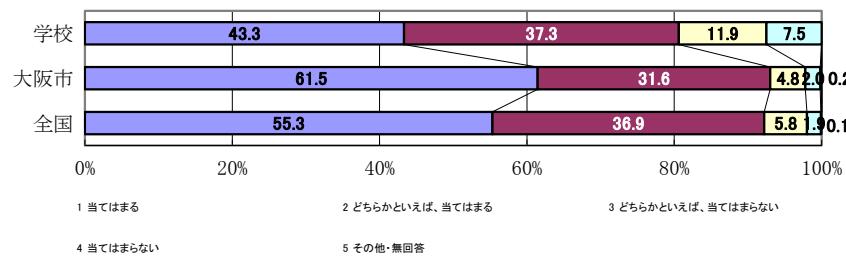
5

自分には、よいところがあると思いますか



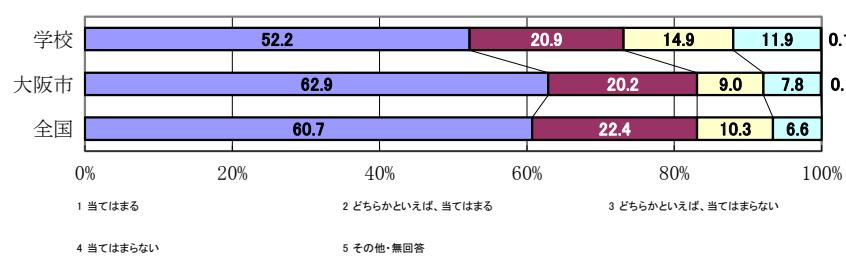
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



7

将来の夢や目標を持っていますか



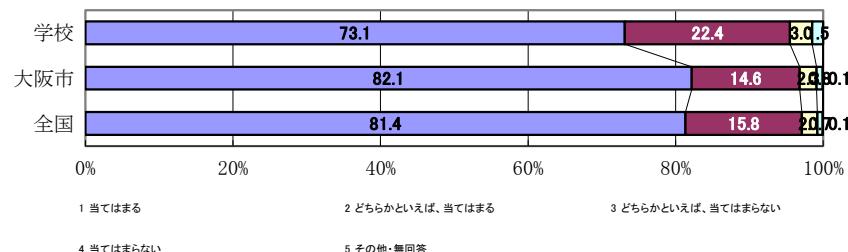
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

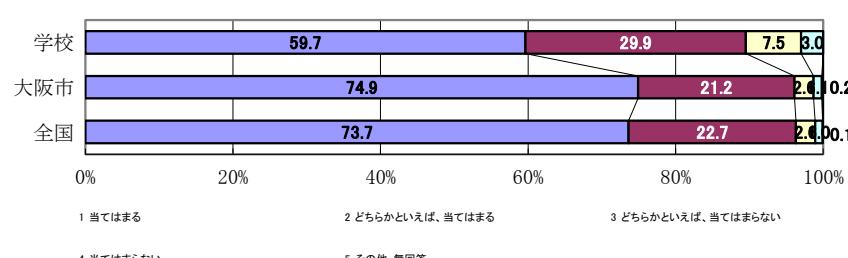
9

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



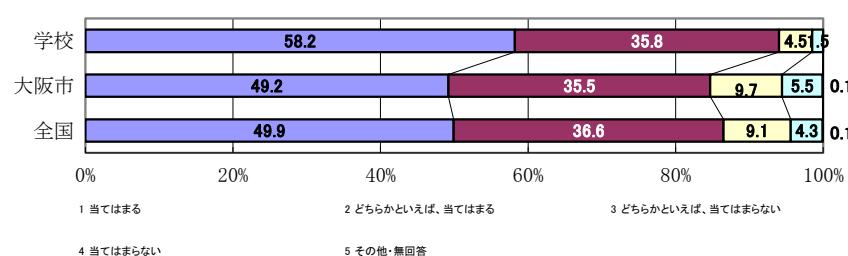
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



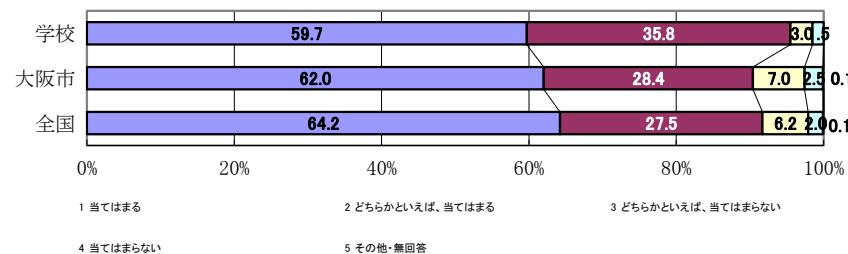
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



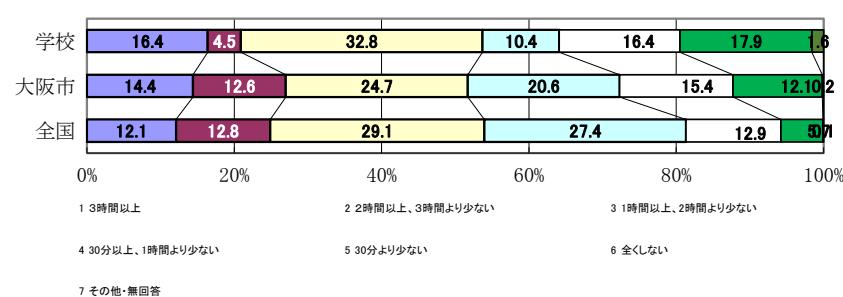
14

友達関係に満足していますか



17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



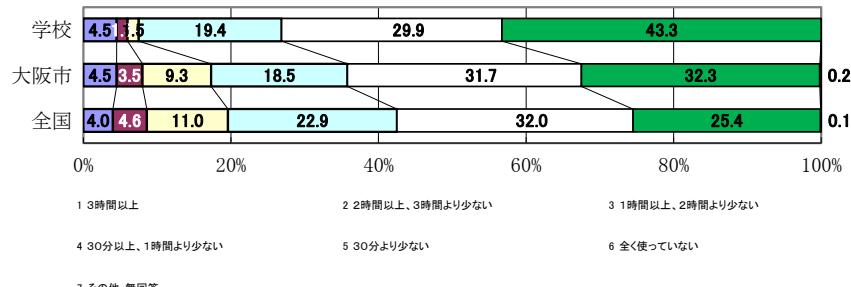
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

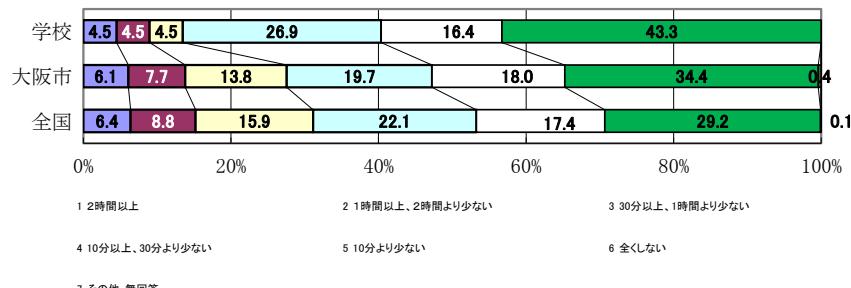
18

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)



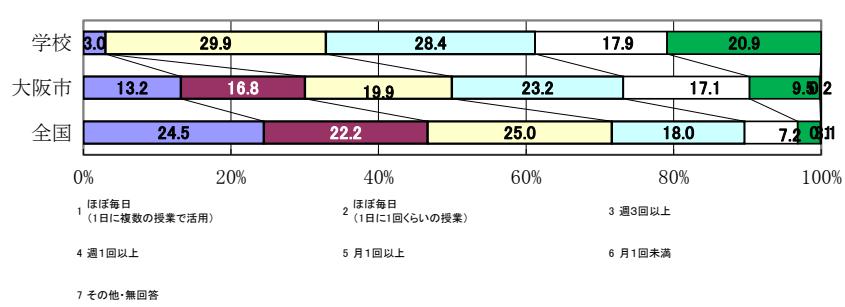
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



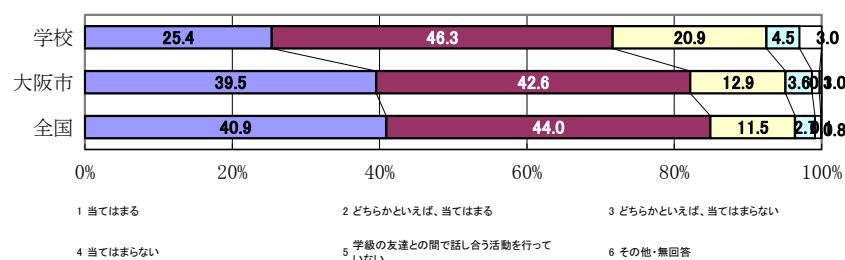
28

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



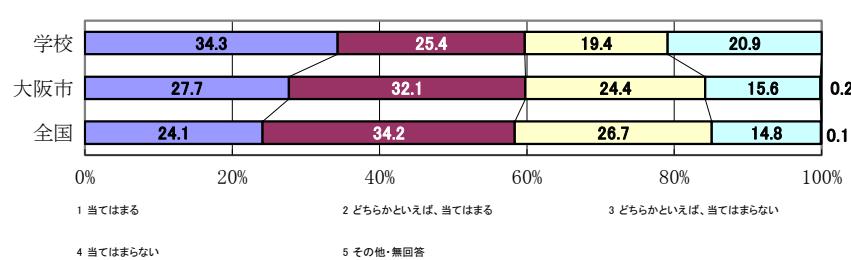
35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか



45

国語の勉強は好きですか



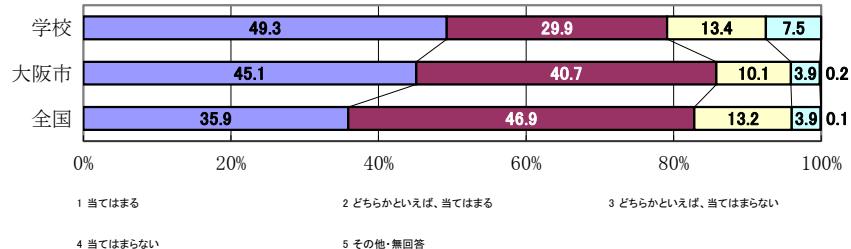
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

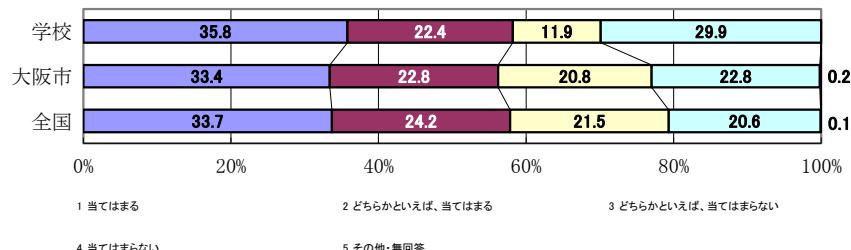
46

国語の授業の内容はよく分かりますか



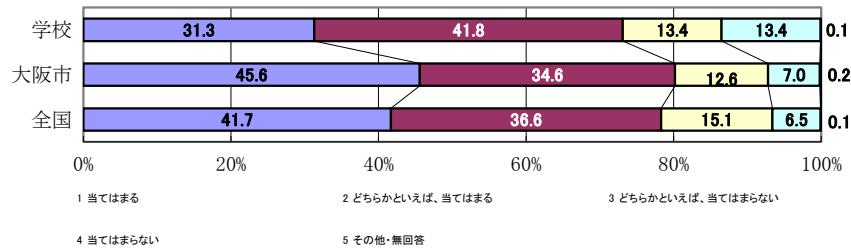
53

算数の勉強は好きですか



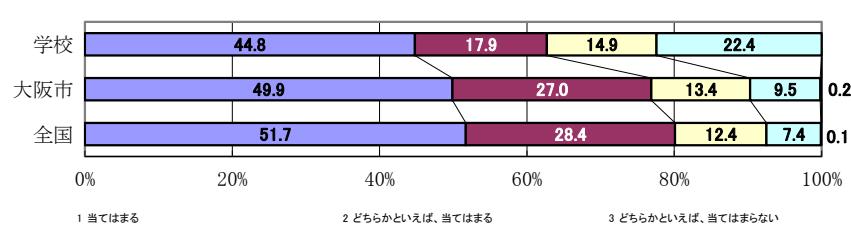
54

算数の授業の内容はよく分かりますか



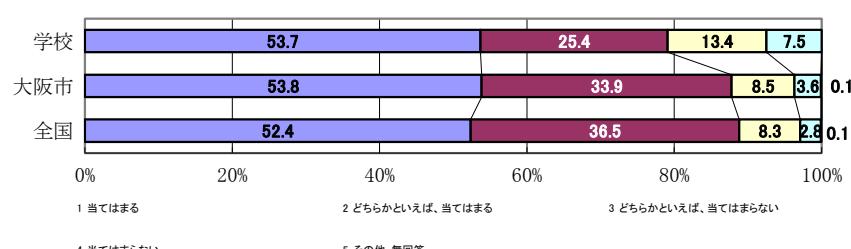
61

理科の勉強は好きですか



62

理科の授業の内容はよく分かりますか



学校質問より

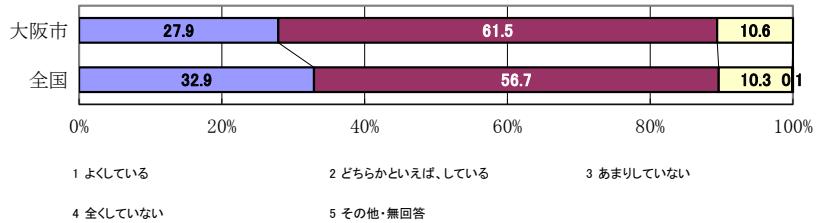
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

19

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的に・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

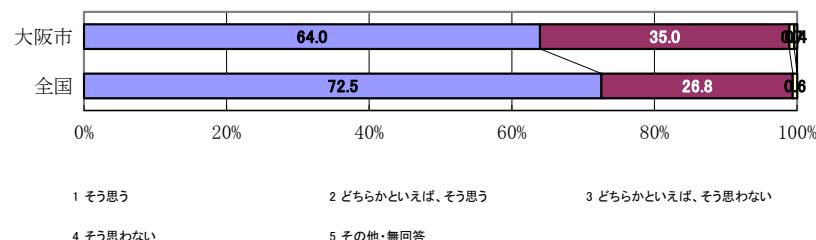
学校 「どちらかといえば、している」を選択



23

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していると思いますか

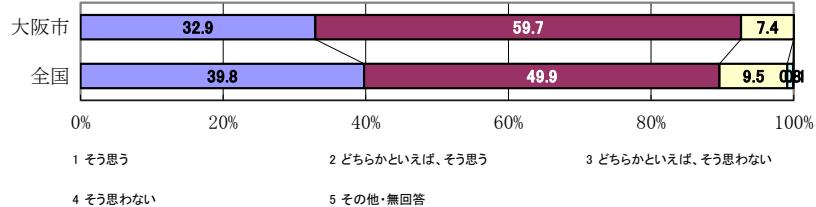
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



57

コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか

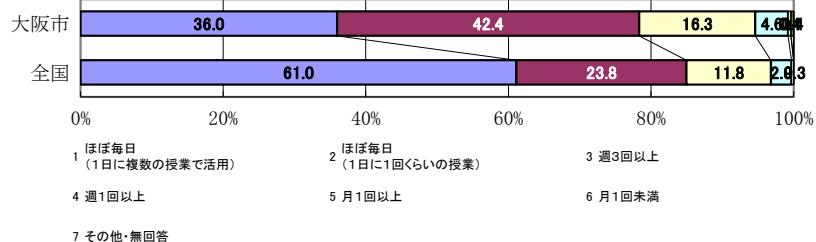
学校 「どちらかといえば、そう思わない」を選択



58

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業での程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日(1日に1回くらいの授業)」を選択



81

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

